

学校の中にはたくさんのおドラマがある。

そのドラマは、見ようと意識をしないと

見えない。そんなドラマの「コマを切り取ったもの」が「おっしのめ」である。

刻々と動いている秒針があり、秒針が一周すると長針が連動して動く。そして長針が動くとき今度は短針も少しずつ少しずつ連動して動く。

子どもたちの成長もそうなのかもしれない。毎日毎日の様々な経験が自分と連動して自分を動かさし、少しずつ自分を成長させていく。「おっしのめ」は、学校の中で見せる「成長の種」とも言えよう。



広島大学附属東豊小学校  
創立140周年記念